

### 第3号議案

## 令和5年度 運営方針及び事業計画

日経アーキテクチュア2022年12月22日号で、「建築界にとって、2022年は「転換」の1年であった」と記載されていました。2月のロシアのウクライナ侵攻を契機として、多くの建築資材が高騰しました。また、6月には建築物省エネ法が大改正されました。今後、新築する全建築物に省エネ基準適合が義務付けられます。木造建築物についても、その普及が急がれています。また、「まちづくり」という観点から、建築士は、大きな期待を寄せられています。これらの状況を踏まえて、令和5年度の運営方針及び事業計画を次のようにしたいと思います。

全建築物、住宅の省エネ基準適合が義務付けられます。その啓発や講習会を進めていきます。奈良県、木材事業者が連携して、非住宅建築物の県産材を活用した木造化を促進する取り組みを進めており、昨年度は、奈良県が主催した「奈良の木でつくる非住宅建築技術者研修」に積極的に参加しました。今年度は、市町村や民間事業者（発注者）のために設計や木材調達等の相談窓口対応を行う「(仮称)奈良の木建築活用コーディネート協議会」に参画します。

地震や風水害の甚大な被害が毎年のように繰り返されています。大和川は特定都市河川に指定され、その流域の治水対策が必要とされています。昨年度は、日本建築士会連合会の「地震風水害対策用 建築士会事前防災活動指針」をテキストに事前防災活動に関する勉強会を開催しました。引き続き、今年度も勉強会を開催したいと思います。

建築士の職域が建築物単体からまちづくりへと広がり、多様な専門家団体と役割分担しながら活動が進められています。今年度「建築士の日」記念事業として、「万葉まほろば線沿線における駅のあり方～みんなの居場所を考える～」を地元市長、まちづくり団体等の参加をいただき開催いたします。

そして、「第20回奈良県景観デザイン賞」の年でもあります。どのような作品が選ばれるのかとても楽しみです。また、社会問題となっている管理されない空家の利活用推進のため、建築士会として市町村への協力を引き続き進めます。奈良県は、数多くの歴史的建造物があり、その活用や維持保全が望まれています。建築士会では、奈良へリテージ支援センターで、講習会をはじめ各地で活動を進めます。

法律や制度の改正が頻繁に行われて、建築士としての資質向上や新知識の習得が必要であり、そのための講習会を進めます。特に、会員の減少は深刻な課題であり、状況に配慮した、正会員と準会員の在り方について引き続き検討します。

最後に、昨年度は各委員会や支部で工夫をして活動を進めていただきました。今年度はより一層、広報に力を入れ、建築士会に対する県民の理解を深めたいと考えます。建築士としての職能からの知恵と技術を生かし、未来志向で進めて参ります。建築士会会員の皆様には是非とも活動に意義を感じ、建築士会を通じて社会に貢献して頂きたいと思っております。

## 重点施策

1. 地域貢献活動の推進
2. 建築士会会員増強の推進
3. 建築士の資質の維持向上及び業務環境の改善
4. 建築士制度に係わる事業の推進
5. 建築士会の組織及び財政基盤の強化
6. 建築関係3団体をはじめ関係団体との連携・協力

## 事業内容

### 1. 地域貢献活動に係わる事業

1. 街中（空家）まちづくり活動の推進
2. 歴史まちづくり活動の推進
  - 1) 歴史的建造物委員会の運営
3. 福祉まちづくり活動の推進
4. 木材の利活用の促進支援
5. 景観まちづくり活動の推進
6. 防災まちづくりの推進
  - 1) 被災建築物応急危険度判定士参集連絡体制の整備
  - 2) 風水害への対応の検討
7. まちづくり活動等地域に根ざした専門活動の支援

### 2. 建築士会会員増強に係わる事業

1. 未入会建築士への入会促進
2. 会員増強のための継続的運動の推進
  - 1) 試験合格者・スチューデントメンバー制度の推進  
(建築関連学校学生への建築士会活動への呼びかけ)
  - 2) インターンシップ受け入れ体制の検討
3. 各支部の増強活動への協力・支援

### 3. 建築士の資質の維持・向上に係わる事業

1. 建築士の講習・研修の実施
  - 1) 研修会、見学会の開催
  - 2) 監理技術者講習の開催
  - 3) 建築関係図書の発行
2. 専門分野別建築士の養成
3. 継続能力開発（CPD）制度の普及・推進及び行政への周知
4. 専攻建築士制度の普及・推進

#### 4. 建築士制度に係わる事業

1. 建築士試験の業務受託実施
2. 建築士の登録事務
3. 建築士業務環境改善
4. 建築基準法等関連法令への対応

#### 5. 建築士会の組織及び財政基盤の強化

1. 事業・支部組織の見直しの検討
2. 会員相互の交流の推進

#### 6. その他事業

1. 建築関連情報誌「士会奈良」の発行
2. コンペ「建築甲子園」の実施協力
3. 近畿学生住宅大賞の実施
4. 建築情報サイトの管理運営
5. 発注者への支援事業の推進
6. 建築行政への協力
  - 1) 「違反建築防止週間」「建築物防災週間」「まちづくり月間」事業
  - 2) 奈良県被災建築物・宅地応急危険度判定事業
  - 3) 奈良県住宅・建築物耐震化促進協議会
  - 4) なら安全安心住まい・まちづくり協議会
  - 5) 奈良の木利用推進協議会
  - 6) なら健康・省エネ住宅を推進する県民会議